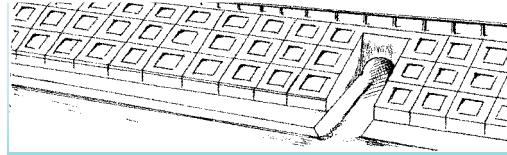
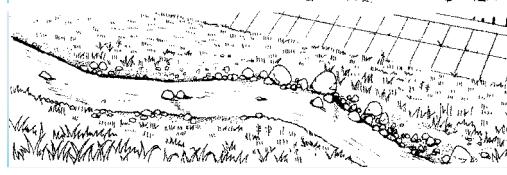
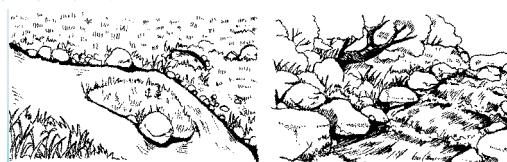


## しらべること 3 流れのようす



## 3 点

川原の中を蛇行していて、中州や川原の中に池がある。上流や中流の場合は、瀬や淵(滝や滝つぼなど)があり、水の流れが別れる分流がある。

## 2 点

中州や池は少ないが、川原の中を蛇行して流れている。上流や中流の場合は、瀬や淵は見られるが、分流は見られない。

## 1 点

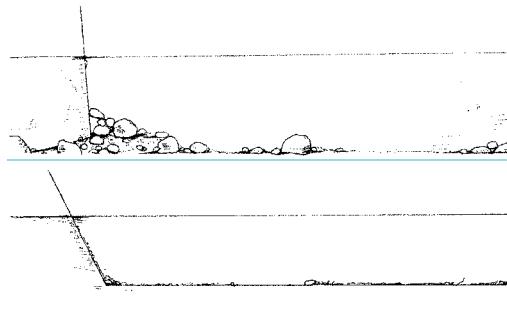
砂や石がたまつところや、その上に生えた草むらはあるが、川はほとんどまっすぐに流れている。

## 0 点

砂や石のたまるところもなく、排水路のように流れている。



## しらべること 4 水ぎわと川底のようす



## 3 点

石や砂が自然のままの状態。流れが強いと石や砂が運ばれる。水ぎわは、自然の植生に覆われていたり、自然の岩や土の崖になっている場合もある。

## 2 点

水ぎわは人の手によって石が積まれてたりしているが、コンクリートなどで固められていない。場合によっては石積みが植物で覆われ、川底は自然に近い状態。

## 1 点

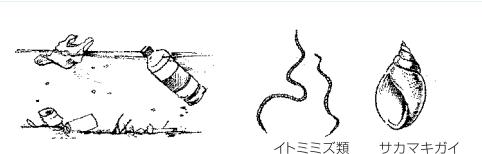
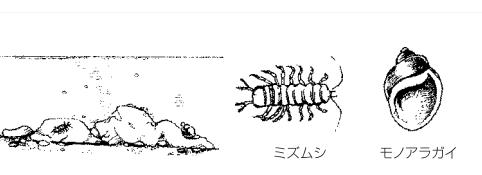
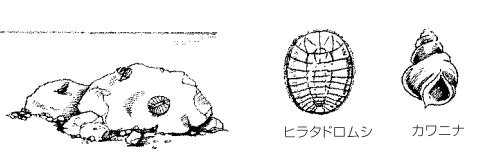
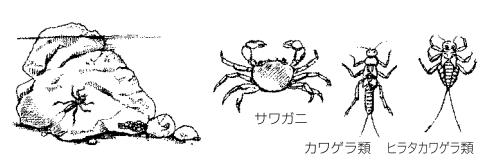
水ぎわはコンクリートで固められているが、川底は人手が加わっていても固められてはいない。

## 0 点

水ぎわも川底もコンクリートで固められている。



## しらべること 5 川のよごれ



## 3 点

水は澄んでいて、サワガニ、カワゲラ、カゲロウなどの水生昆虫がいる。

## 2 点

わりあいきれいな水で、ヒラタドロムシやカワニナなどがいる。

## 1 点

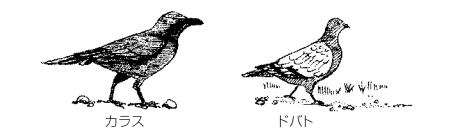
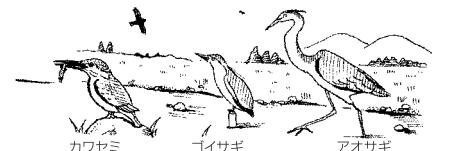
水はやや濁っていて、生物の種類数は少ない。ミズムシ、モノアラガイなどがある。

## 0 点

水は非常に濁っていて、川底の泥は黒っぽい。イトミミズ、サカマキガイなどがある。



## しらべること 6 川の鳥のようす



## 3 点

川のどの場所にいても何種類もの野鳥の姿が目に入る。

## 2 点

水面や川原を使ってくらす野鳥がいる。  
例:白い鳥(サギの仲間、カモメの仲間)  
群れている鳥(ツバメの集団、カルガモのグループ)  
良く鳴く鳥(ヒバリ、オオヨシキリ、チドリの仲間など)

## 1 点

よく見られる鳥は、公園の池でも見られる鳥と同じ。

## 0 点

カラスやドバトしか見られない。



みじかな一句

彼岸花 稲に映えたり 山の里

神奈川県／岩田尚一さん

みじかな一句

埋まるとも 知らずに鳴くや 牛蛙

千葉県／前澤章夫さん